今、変わる！
流山市議会

流山市議会だより

第160号
平成29年８月15日

発行：流山市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
千葉県流山市平和台1−1−1　議会事務局内
電話04-7150-6099（直通）FAX 04-7150-2863
Email:gikai@city.nagareyama.chiba.jp

市議会だよりは２月、５月、８月、11月の年４回発行です。　ホームページアドレス http://www.nagareyamagikai.jp/

写真コンクール入賞作品、竹内　寛泰さん（11歳）撮影の「今から行くぞ!!流山の旅」

撮影の背景　流山駅で「今日は何の電車が停まっているのかな？」と見ると、終わろうとしている流馬が、隣の流星にバトンを渡しているようでした。

新たな議会構成決まる

議長に秋間髙義議員、副議長に森亮二議員

第１回臨時会概要

５月18日に開催された第１回臨時会では、正副議長の選挙が行われました。選挙に先立ち本会議休憩中に正副議長立候補者所信表明演説会が行われ、各立候補者の所信表明演説に対し、議員からの質問が行われました。

選挙の結果、議長に秋間髙義議員、副議長に森亮二議員が選出されました。また、議会運営委員会委員の選任や常任委員会（総務・教育福祉・市民経済・都市建設）委員の選任などが行われました。（要旨２面）

このほか市長から提出された、「専決処分の承認を求めることについて（流山市税条例の一部を改正する条例）」を含む３件の議案が提出され、提案理由の説明の後、総務委員会に付託され、委員会審査の後、本会議において質疑、討論、採決が行われました。（要旨８面）

第２回定例会概要

６月15日の開会日には、市長から「平成29年度流山市一般会計補正予算（第１号）」を含む合計９件の議案が提出され、提案理由の説明が行われました。また、そのほか10件の報告がありました。（要旨６・８面）

本会議終了後には、議会広報広聴特別委員会、つくばエクスプレス沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会の正副委員長の互選などが行われました。（要旨２面）

市政に関する一般質問は、６月20日から23日までの４日間にわたり、20人の議員が登壇し行われました。（要旨２～５面）

６月23日の一般質問終了後には、市長から「監査委員の選任について」を含む追加議案３件が提出され、提案理由の説明の後、採決が行われました。

その後、各常任委員会に議案・陳情が付託されました。

各常任委員会は、６月26日から29日までの４日間にわたり開催されました。（要旨６面）

７月５日の最終日には、各常任委員会の委員長報告の後に、質疑、討論、採決が行われました。

その後、議員からは、「北朝鮮によるミサイル発射に抗議する決議について」を含む合計７件の発議が提出され、提案理由の説明の後、質疑、討論、採決が行われました。（要旨５・８面）

写真コンクール入賞者決定

市議会では、今回で16回目となる写真コンクールを開催しました。今回は、初めて市内在住・在学の小学生から18歳までの方を対象に募集し、40名の方から合計84点の作品を応募いただきました。多くのご参加を頂き、誠にありがとうございました。厳正な審査の結果、次の４点が入賞されました。

入賞作品を、今号から来年５月15日号までの４回にわたり、順次掲載する予定です。

入賞者氏名（敬称略）「題名」
竹内　寛泰「今から行くぞ!!流山の旅」
伊島　彩乃「勝負」
田原　楓也「江戸川の夕暮れ」
今井　小雪「ドキドキ、初めての田うえ」

［写真前列右から］

就任のあいさつ

森　亮二　副議長

秋間　髙義　議長

このたび、私たちは、去る５月18日に開催された第１回臨時会におきまして、多数の議員から推挙をいただき、流山市議会議長および副議長に就任いたしました。このたびの就任に当たっては、大変光栄であるとともに、その重責に身が引き締まる思いでございます。

議会運営は、時世や環境に合わせて柔軟な対応が必要な一方、法令に従い公平かつ適正な運営が求められております。

流山市議会では、市長をはじめとする執行機関と健全な緊張関係を保ちながら、二元代表制における議事機関として、市民との連携・協力を図り、公平・公正な議会運営を行い、流山市議会基本条例の理念を達成するため、市民福祉の向上と市勢の伸展に全力を尽くしてまいります。

今後とも皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

各委員会の構成と役割

◎委員長、○副委員長

議会運営委員会

議会の運営に関する事項・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項・議長の諮問に関する事項

◎中川　弘
○笠原　久恵
野田　宏規
西尾　段
野村　誠
藤井　俊行
根本　守
小田桐　仙

特別委員会

議会広報広聴特別委員会	◎加藤　啓子	○戸辺　滋	石原　修治
	菅野　浩考	植田　和子	阿部　治正
	楠山　栄子		
つくばエクスプレス沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会	◎小田桐　仙	○近藤　美保	大塚　洋一
	野村　誠	加藤　啓子	中村　彰男
	西川　誠之	藤井　俊行	

常任委員会

総務委員会

総合政策部、総務部、財政部、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会の所管に関する事項および他の常任委員会の所管に属しない事項

◎藤井　俊行
○坂巻　儀一
近藤　美保
加藤　啓子
斉藤　真理
中川　弘
乾　紳一郎

教育福祉委員会

健康福祉部、子ども家庭部、教育委員会の所管に属する事項

◎根本　守
○森田　洋一
野田　宏規
戸辺　滋
西尾　段
大塚　洋一
小田桐　仙

市民経済委員会

市民生活部、経済振興部、環境部、農業委員会の所管に属する事項

◎菅野　浩考
○石原　修治
野村　誠
植田　和子
西川　誠之
森　亮二
海老原　功一

都市建設委員会

都市計画部、都市整備部、土木部、消防、上下水道局の所管に属する事項

◎中村　彰男
○徳増　記代子
笠原　久恵
阿部　治正
楠山　栄子
青野　直
秋間　髙義

市政に関する一般質問

平成29年第２回定例会の一般質問には、20人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。
各議員が行った質問のうち、１問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。
なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。

流山本町速度規制 時速30キロの実現に向けて

流政会　青野　直

問 **速度規制は、流山市長、流山警察署長宛１１９３名の署名を添付の上要望されている。流山本町内を猛スピードで通過する車によって住民、児童・生徒、多くの方々が危険にさらされている現実を解決しなければならない。実現方法を問う。**

答 **土木部長**　市では、時速30キロメートル規制が可能か流山警察署と協議を重ね、５月25日に千葉県公安委員会及び流山警察署と現地立ち会いを実施しました。その結果、この地域における速度規制は路線、単線への速度規制ではなく、エリアを定めたゾーン30による対策が妥当であるとの見解をいただきました。今後、ゾーン30の実現に向け、千葉県公安委員会、流山警察署並びに地元自治会の方々と現地調査を行い、この地域に合った具体的な対策方法などの詳細を決めていきます。

交差点における渋滞の改善策について

自由民主党　根本　守

問 **県道柏・流山線と（通称）旧日光街道が交差する富士見町交差点について渋滞が慢性的に発生しており、右折禁止及び時間差を設けるなどして解決策を検討すべきと考えるが当局の見解を問う。**

答 **土木部長**　交差点における右折禁止の規制については、抜け道としての利用を助長させ、周辺の住宅環境に影響が出ると懸念されることから、さらなる研究が必要だと考えています。
信号機の制御については、赤と青の表示サイクルなどの変更について、混雑が少しでも緩和できないか、柏市と協議を進めます。それをもって、千葉県公安委員会、柏警察署に対して強く要請をしたいと思います。
流山市内でも流山警察署と協議をして、時間サイクルの変更を実際に行った事例があります。
どの時間が一番有効なのかは、調査をした上でないと難しいので、実態調査を柏市と共同で考えた上で、具体的な提案をしていきたいと思います。

富士見町交差点

オオタカを「市の鳥」と制定してはどうか

流政会　野田　宏規

問 **オオタカは今や流山市の象徴です。現在、流山市に「市の鳥」は制定されていないため、オオタカを「市の鳥」として制定してはどうですか。また、それに合わせて、保護条例等の保護策を講じるとよいと考えますが、いかがですか。**

答 **環境部長**　オオタカを市の鳥に指定することは、オオタカの保護につながるだけでなく、自然と共生した魅力あるまちづくりを進める上でも重要と認識しており、地域の環境団体などに意見を伺いながら、前向きに検討します。また、オオタカの保護は、保護看板の設置や営巣に影響を及ぼす外来生物の駆除を行い、オオタカが営巣できる環境を保てるよう、市野谷の森の整備を県に要望するとともに、地域の環境団体等と協力しながら保全策を進めます。
保全は周知、啓発が非常に重要です。市の鳥として指定した後は、オオタカを含めた生態系や自然環境の保全につながるような手法を検討したいと考えています。

流山本町における外国人観光客誘致の充実

市民クラブ　森田　洋一

問 **外国人観光客誘致の重要性をどう考えているのか。昨年度実施したモニターツアーをどう総括して今年の事業展開に活用しているのか。ターゲットはどういった客層を想定しているのか。観光案内所開設については現在どう考えているのか。**

答 **市長**　外国人観光客の誘客は重要と考えます。

モニターツアーの意見として、混み合っている観光地と違いゆっくりできる。興味のある場所や物、体験に時間をかけることができる。日本の生活感ある町並みに魅力を感じるなどがありました。

一方、外国語による観光ガイドの必要性といった問題もいただきました。いただいた意見を取り入れ外国人観光客誘客につながる情報発信をします。

観光案内所設置は、開設検討を始める時期と考えます。外国人観光客の対応も必要と考えるため、関係機関と協力や調整など必要があると考えます。

ターゲット層、ゆっくりとまち歩きを行う観光スタイルに興味をお持ちの方々にプロモーションを検討し、まずは英語から始めたいと考えます。

職住接近の働き場の創出について

流政会　近藤　美保

問　**技術革新を味方につけ、社会課題の解決をもたらす仕組みを先駆けて構築できれば、老若男女、あらゆる人々にチャンスがある。市では通勤が足かせとなり働きたくても働けない方が多いため労働政策としてリモートワーク※を推進してはどうか。**

答　**経済振興部長**　本市のリモートワークの事例では、商店街空き店舗有効活用事業の補助金を活用した市内事業者が南流山でサテライトオフィスを開設し、都内の企業がそこでリモートワークを実施していることが好事例としてたびたびマスコミに取り上げられ注目されています。

本市としては、国の動向を注視するとともに、在宅勤務を含めたリモートワーク雇用の希望者向けセミナーの開催をはじめ、子育てと仕事が両立しやすい求人情報の提供、さらには企業のサテライトオフィス開設のニーズに対して市内の空き店舗情報を提供し、リモートワークの環境づくりを側面支援したいと考えています。

児童館の新設と職員の増員を要求！

市民クラブ　藤井　俊行

問　**東深井、東・西初石、南流山地区などには児童館等がない。子どもの居場所確保のためにも新設すべきではないか。また、新設できない地区は出前児童館の事業を実施するべきではないか。職員が不足するなら予算確保して増員するべきでは。**

答　**副市長**　居場所づくりについては、移動児童館を含めて対応させていただき、さらに、それで不足をする部分については、次期計画の中に位置づけをする、あるいは今期計画の中でも検討する。今南流山とかおおたかの森に行っている職員を今度は初石、東深井に投入してはどうかということについては、内部で体制を含めて検討したいと思います。

私どもとしては、江戸川台児童センターに通える範囲で今も利用されている方が東深井などにいますし、仮にもし不足があれば東深井の方々については実態を調査した上で、本当に来られないのか精査して答えたいと思います。

教育環境の悪化を強いた責任者はだれか

日本共産党　小田桐　仙

問　**新設小学校について予定地は子どもも住宅も少ない地域だが、通学路が長距離にならないか。そもそも減歩（地権者からの土地提供）を求めながら、なぜ区画整理区域内で学校用地を確保しないのか、当初の学校整備計画を変更したのは誰か。**

答　**学校教育部長**　新設校通学区域は大畔地区を考えた場合、多少遠くなると十分認識しています。

教育長　子どもたちの通学距離が変わることは、本当に申し訳ないです。

各学校間の教育の質に差が生じないよう努力をしています。

都市整備部長　運用指針に地区を含めた周辺で学校用地を検討し、教育側と一緒に十分調整するようにうたわれているので、地権者を裏切ったという気持ちはありません。

平成21年、22年ごろ、当時の教育と都市整備、企画等を含め協議した結果、２小１中の運動公園周辺地区にあった１小、新市街地地区にあった１小１中を都市計画道路の廃止に伴い、その上に小中併設校で建設したので十分協議し決定しています。

市長　最終的に私が判断しました。

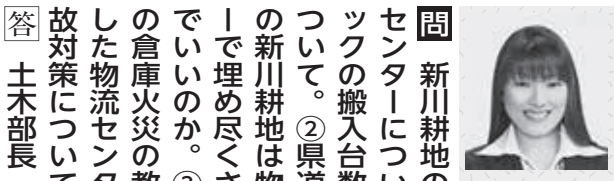
国保広域化で国保料はどうなるのか？

日本共産党　乾　紳一郎

問　**国保広域化が来年４月に迫っていますが、市町村ごとの標準保険料の試算結果を公表するよう千葉県に求めるべきではありませんか。県内29市町村で標準保険料が現行より高くなるとしていますが、本市の場合も高くなるのではないですか。**

答　**市民生活部長**　千葉県は、納付金額や標準保険料率の試算について、平成29年５月までに２回の仮計算を行っていますが、公表していません。なお、８月中に実施される第３回目の仮計算では、公費投入などを反映した平成29年度の推計事業費納付金や標準保険料率が示される予定となっており、市はこの結果を注視しているところです。

今回の改正は所得が高い市町村に負担が多くかかるという実態があるようです。そのような実態からすれば、流山市は保険料が上がる傾向にあると考えています。



新川耕地はどうなるの

日本共産党　植田　和子

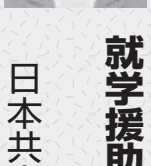
問　**新川耕地の巨大物流センターについて①トラックの搬入台数見込みについて。②県道東側全ての新川耕地は物流センターで埋め尽くされる認識でいいのか。③埼玉県内の倉庫火災の教訓を活かした物流センター火災事故対策について問う。**

答　**土木部長**　４例目の物流施設の稼働における大型車両は１日あたり１２９１台の計画、整備中である２例目３例目を加えた物流施設の大型車の合計は、１日あたり４０６０台となっています。

副市長　新川耕地の県道から東側について、土地改良区との話し合いの結果、開発を進めてほしい、江戸川の土手沿いは当面保全をして欲しいという形でまとまっています。根方側について、現状では物流施設が立地されると想定をしています。

消防長　想定外の災害に対する備えは非常に大切だと職員一同十分認識しています。倉庫の場合、延焼拡大範囲を確認し、実態の把握を早急にし、対策を練って、消防力の中で最善を尽くして鎮火に努めたいと考えます。

建設中の物流センター



就学援助「入学準備金」は入学前支給を！

日本共産党　徳増　記代子

問　**就学援助制度の入学準備金について文部科学省では、単価の倍増と小学校入学前での支給をうながしている。本市でも積極的に取り組むべきだがどうか。さらにクラブ活動費、ＰＴＡ会費、生徒会費も支給対象にするべきだがどうか。**

答　**学校教育部長**　小学校の新入学学用品費の入学前の支給は、他市の状況も勘案しながら今後の課題として捉えているところです。今年度からは保護者の負担を減らすため、認定が決定した時点でできる限り早い時期に新入学学用品費の支給を行っています。

支給額引き上げについて、流山市就学援助規則を改正し、平成29年度対象者から支給額の増額を行っています。

就学援助の対象費目は、現時点でクラブ活動費や生徒会費、ＰＴＡ会費などの対象費目を拡充ではなく、現行の就学援助の対象費目を堅持し、支援が必要な家庭に支給していきたいと考えています。

他市の状況も情報を得ながら今後研究していきたいと考えています。

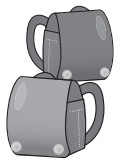
人口増加に伴う児童・生徒の受入れ態勢は？

市民クラブ　西川　誠之

問　**平成35年度のおおたかの森小学校は本年４月比２・５倍の88学級、中学校は３倍の36学級となる想定だが、既設の学校の増改築および現在計画中の小学校１校新設だけで済むのか当局の見解を問う。**

答　**学校教育部長**　児童生徒数推計および想定値は、共同住宅をはじめとした建設計画などの不確定要素が大きいことから、数値が変動することが予想されますが、今後も児童数の増加が見込まれており、この対策として、学校施設の増築、通学区域の見直しを実施するとともに、新設小学校の計画を検討しています。

平成29年度児童・生徒数推計および想定値をもとに、現時点では小学校１校の新設校と通学区域の見直しでの対応を検討しています。今後の児童・生徒数推計および想定をしながら、状況に応じて関係部署とも協議していきたいと考えています。



用語解説　リモートワーク…情報通信機器を利用して、自宅などの場所で会社から任された仕事を行う勤務形態

一般質問通告一覧

1	青野　直	1	流山市総合計画後期基本計画における人口及び財政課題への取り組み姿勢について
		2	市内小学校の整備計画及び学童クラブの整備について
		3	流山本町の活性化及び南部地域の安全対策について
2	根本　守	1	交通問題について
		2	公有財産の管理について
3	野田　宏規	1	本市のコンセプトである「都心から一番近い森のまち」のイメージ維持について
		2	本市救急隊の増隊について
4	森田　洋一	1	流山本町における外国人観光客誘致の充実について
5	近藤　美保	1	子育てが困難なご家庭に寄り添う支援策について
		2	職住近接の働き場の創出について
		3	流山市の女性職員の管理職への登用について
6	藤井　俊行	1	「子育てのまち」を実感できる事業の展開について
		2	本市の環境にやさしい低炭素政策について
7	小田桐　仙	1	教育行政について
		2	保育行政について
		3	ごみ行政について
8	乾　紳一郎	1	教育行政について
		2	国民健康保険について
		3	南部地域のまちづくりについて
		4	保健・福祉について
9	植田　和子	1	憲法９条について市長の見解を問う
		2	新川耕地の巨大物流センター建設の市民生活への影響について
10	徳増記代子	1	教育行政について
		2	ぐりーんバスについて
11	西川　誠之	1	第７期高齢者支援計画の策定プロセスについて
		2	人口増加に伴う児童・生徒の受け入れ態勢について
		3	「待機児童ゼロ」に向けた本市の保育所整備について
12	西尾　段	1	初石駅周辺の交通安全対策について
		2	「子ども食堂」について
		3	流山本町、利根運河、キッコーマンアリーナなどの市外への宣伝について
13	加藤　啓子	1	流山市の人口急増による市政への影響について
		2	市民と協働する職員育成等について
		3	総合教育会議の長としての市長の教育理念について
14	斉藤　真理	1	「ふるさと納税」を流山市のブランド戦略に活かす取り組みについて
		2	いじめ対策について
15	菅野　浩考	1	ヘルプマークの周知に関する本市の取組み姿勢について
		2	地域学校協働活動及び特別の教科 道徳への取り組みについて
16	楠山　栄子	1	福祉有償運送促進に向けた取組みについて
		2	流山市子どもの読書活動推進計画について
17	野村　誠	1	本市の廃棄物対策について
		2	自転車活用推進法の取り組みについて
18	坂巻　儀一	1	観光資源としての「利根運河」の活用と周辺整備について
19	戸辺　滋	1	江戸川台小学校前の歩道の安全確保について
		2	認知症による徘徊高齢者の早期発見対策について
20	阿部　治正	1	介護保険制度が抱える課題と本市の対応策について
		2	国民健康保険制度の広域化（都道府県単位化）について

子ども食堂を始めるための支援を！

市民クラブ　西尾　段

問 **貧困や孤食の子ども達に温かい食事を提供する「子ども食堂」が全国に広がっている。流山市内の状況はどう把握しているか。また、今後、子ども食堂を始めようとしている方への支援についてどの様に考えているか。**

答 **子ども家庭部長**　東深井の子ども食堂「風の村流山・から風流（ふる）」、駒木台こども食堂、下花輪の東葛病院こども食堂の３カ所を把握しています。

新しく始めようと思った方が始めやすい支援としては、調理室のある福祉会館、公民館などの情報を提供したり、インターネット、書籍などのさまざまな子ども食堂に関する情報をもとに、アドバイスをしたり、既に先行実施をしている事業者の方を紹介する等の、側面的な支援を現状では考えています。

先進市にならい、早期に人口ビジョンを作るべき

自由民主党　加藤　啓子

問 **想定外の人口増加で小学校不足の問題の他、必要となる事業は何か。流山市は人口減少自治体ではないため、国の作った人口ビジョンではなく、他市のように建設予定や交通網開通等の理由を考慮した人口ビジョンを作成すべきでは。**

答 **市長**　今年度中に、次期総合計画策定の基本フレームとなる将来人口推計をまとめ、来年度から具体的な次期総合計画の策定作業に入ることから、その中で事業や財源について検討します。

流山市の場合は下期実施計画、そしてまち・ひと・しごと創生総合戦略の中で人口ビジョンを併設してまとめていますが、これを個別にする理由はないと考えます。

流山市の人口ビジョンの部分は、国の方針に沿って書いています。

ふるさと納税を本市のブランド戦略に活かす

公明党　斉藤　真理

問 **平成27年度流山市「ふるさと納税」の収支は約1500万円の赤字だった。寄付を希望される方に流山市を選んで頂くために、より共感を得やすい寄付項目や、魅力ある返礼品の開発、リピート率を上げる取り組みなどについて問う。**

答 **総合政策部長**　寄付を集めるために基金の内容をよりわかりやすい表現に改めたいと思います。例えば基金を使用する事業内容や基金名にサブタイトルをつけるなど表現の改善を行い、共感を得やすいよう工夫をしたいと思います。

新たな商品開発は、「ブラッスリーしんかわ」のみりんを使ったプリン、レタンプリュスの焼き菓子、百貨店セレクト商品などを検討しています。

寄付者が継続的に支援をしたいと思える事業や施策であることが重要であると考えています。寄付金がどのように使われたか、ホームページで掲載するなど、目で見える形でお知らせすることが大切であると考えています。

「ヘルプマーク」周知の取り組み姿勢について

菅野　浩考

問 **認知症や妊娠初期、視覚障害や聴覚障害、内臓疾患、義足や人工関節など、外見で分からない援助や配慮が必要な方が支援を得やすくなる様、私の５年前からの質問により市が県に働きかけ県でヘルプカードを配布するが、市の周知はどうか。**

答 **健康福祉部長**　ヘルプマークは、今後国内の統一マークとして位置づけされれば、８月の広報紙や市ホームページへ掲載し、周知に努めます。各障害者団体へ周知するとともに、障がいに応じたヘルプマークの活用に対するご意見の聴取を考えています。また、障害者支援課窓口で配布の障害者福祉の手引きにヘルプマークを追加記載するよう準備を進めています。県ではヘルプマークにかわり、緊急連絡先や病名、医療機関、血液型、服薬状況などが記載できるヘルプカードを作成中で、年内には各市町村に配布予定とのことから、本市も障害者団体からの意見を参考とした上で、まずは障害者を対象として配布したいと考えています。

学校司書設置と図書館ホームページについて

市民クラブ　楠山　栄子

問 **近隣市のほとんどは学校司書を全校設置し、研修も実施しているが、流山市は一部配置で、研修もない。全校配置にむけて具体的な設置計画をたてるべきと考えるがどうか。また、市立図書館のホームページに子どもページを作ってはどうか。**

答 **生涯学習部長**　市の学校図書館司書の配置は、９つの中学校区に各１名の配置計画となっています。平成28年度は、西初石中学校と西初石小学校に１名配置、平成29年度は南部中学校、流山小学校、流山北小学校に１名配置です。配置後は、貸し出し冊数が西初石小学校で約59・８％の増加との報告を受けています。今後勤務対応や勤務内容等の見直しを行いながら、平成30年度を目途に、全中学校区に配置することを計画しています。

ホームページは、図書館電算システムと一体化した契約となっています。契約更新を来年９月末に予定していることから、更新時に合わせて子どもページの作成を検討したいと思います。

自転車活用推進法の取り組みについて

公明党　野村　誠

問　**昨年12月の第192回臨時国会において、自転車を利用しやすい環境整備を進める自転車活用推進法が成立し、施行された。自治体は自転車をより一層利用しやすくなるよう計画策定を見据えた取り組みを検討すべきと考えるがどうか。**

答　**土木部長**　自転車活用推進法が平成29年５月１日から施行され、６月13日には国土交通大臣を本部長とする第１回目の自転車活用推進本部が開催されたところです。この会合にて、今後概ね１年後を目途に、国の自転車活用推進計画の策定を目指して作業を進めることが確認されたと聞いています。

　本市としては、ご指摘の自転車専用道路や自転車専用車両通行帯の整備については、現在具体的な計画は策定されていない状況となっています。今後自転車活用推進法第11条にも規定されているとおり、国および県が策定する推進計画が決まった後、本市の実情に合わせた推進計画の策定を検討したいと考えています。

運河駅西口周辺の再整備について問う

流政会　坂巻　儀一

問　**運河駅は、西口駅前周辺と駅から水辺公園へのアクセスを考えた場合、車椅子を使用する障がい者の方や高齢者の方にとって親切な整備がなされているとは思えない。運河駅西口周辺の再整備を東武鉄道（株）と共に再考していく計画はあるか。**

答　**都市整備部長**　運河駅西口駅前の用地の大半は東武鉄道が所有、管理し、改修には東武鉄道の協力が必要となります。以前は変電施設として利用していた未利用地について、東武鉄道に今後の土地利用計画を問い合わせたところ、現時点で整備の予定はないとの回答でした。駅舎と結ばれる道路やロータリー形状がわかりにくく危険なことから、何ができるかを検討し、東武鉄道に提案、協議をします。

　具体的な提案は、用地の関係上、大規模な改修は非常に困難だと思っています。ただ、危険だという状況があるので、まずは歩行者の安全対策を優先に、現場を確認して対応していきたいと思っています。

登下校中の生徒の安全確保のために

公明党　戸辺　滋

問　**江戸川台小学校正門から江戸川台郵便局へと向かう歩道は、ガードレールと防球フェンスが設置され狭隘（きょうあい）な状況にある。雨天時の接触防止や防犯の観点からも、登下校の際には正門だけでなく小学校南側の門を活用すべきと考えるが見解を問う。**

答　**学校教育部長**　江戸川台小学校前の歩道は狭隘であり、特に雨天時は傘などが接触して、すれ違いをしている状況が見られることも認識しています。児童の登下校の際は、スクールガードの方々や教職員が見守り、安全の確保に努めています。また、学校において、歩道内を広がって通行することのないように、児童への安全指導も行い、危険回避に努めています。

　江戸川台小学校の南側の門は、これまで学校内の安全や防犯上のため、引き渡し訓練などの特別な場合を除いて使用していない状況でありましたが、今後は登下校時に限り南側の門を活用できるように現在準備を進めているところです。

要支援者介護はボランティア頼りで大丈夫か

阿部　治正

問　**市は国策に沿い要支援者へのサービスを「緩和した基準によるサービス」やボランティアのサービスに移行させようとしてきた。が、利用者からは専門家のサービスへ期待が強い。的確な支援が行える専門家の介護を重視すべきではないか。**

答　**健康福祉部長**　高齢者が増えていく環境の中では、元気な高齢者が少し手助けが必要な方々を支えていく社会を構築することは今後の介護保険制度を継続していくためにも重要な柱の一つだと受けとめています。

　市のスタンスとしては、今自治会を中心にお願いをしている地域支え合い活動は他の自治体にはない先進事例だと考えています。その共通する理念は、２０２５年問題を視野に入れた流山スタイルであると考えています。

　議員ご指摘の国策を自由に取り入れて、流山市のスタイルとして確立していくべきだ、そこは共通している考え方だと思っています。これが流山市のスタイルだと思っています。

議員提出の可決議案

◆北朝鮮によるミサイル発射に抗議する決議について◆

　国際社会からの厳しい非難の中、北朝鮮は度重なる新型の弾道ミサイルや各種のミサイル発射実験を繰り返し、その開発を加速しつつあります。

　流山市議会は流山市民を代表して厳重に抗議するとともに、核と弾道ミサイルの開発の断念と廃棄を強く求めます。そして、国が、解決に向け総力を挙げた努力を傾注することを強く求めます。

◆夜間中学の設置促進を求める意見書について◆

　昨年４月時点で、公立夜間中学は全国８都府県25市区、31校に広がっています。しかし、夜間中学の新設・運営は、自治体の財政負担及び教職員の確保など多大な負担が伴うことから、政府及び千葉県に対し、夜間中学の設置促進及び運営に向け諸施策を検討することを求めます。

◆千葉県農業施策の拡充等を求める意見書について◆

　千葉県は農業産出額全国第４位となった一方、耕作放棄地は全国ワースト３位となり、将来的に楽観視できません。そこで、以下の実施を県に強く求めます。①県における農業予算を増額し、さらなる充実を図ること。②農業振興に関わる各種支援の充実を図ること。

◆国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書について◆

　教育は、未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っています。そこで、以下を中心に、予算の充実を求めます。①震災からの教育復興にかかわる予算の拡充。②教職員定数を改善する計画の早期策定・実現。③義務教育教科書無償制度の堅持。④就学援助や奨学金事業の予算拡充。⑤総合型地域クラブの育成など、環境・条件の整備。⑥公立学校施設整備費の充実。⑦基準財政需要額の算定基準を改善し、地方交付税交付金を増額すること、など。

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について◆

　義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を目指して、無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものです。よって、国に義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求めます。

納税等状況報告　（平成29年５月31日現在）

流山市議会議員政治倫理条例第５条第２項の規定に基づき納税等状況の要旨を公表します。

議員名	市民税県民税	軽自動車税	固定資産税都市計画税	国民健康保険料	介護保険料	水道料金	下水道料金
野田宏規	○	○	－	－	－	－	－
近藤美保	○	－	○	－	－	－	－
戸辺滋	○	○	○	○	－	○	○
西尾段	○	○	○	－	－	○	○
大塚洋一	○	－	○	○	－	－	－
野村誠	○	－	○	○	－	○	○
坂巻儀一	○	○	○	－	－	－	－
石原修治	○	○	○	○	－	○	○
菅野浩考	○	－	○	○	－	○	○
植田和子	○	○	－	○	－	○	○
笠原久恵	○	－	－	－	－	－	－
森田洋一	○	－	○	－	－	－	－
加藤啓子	○	○	○	－	－	－	－
斉藤真理	○	－	○	－	－	－	－
阿部治正	○	○	－	○	－	－	－
中村彰男	○	－	○	－	○	○	○
楠山栄子	○	－	－	○	○	－	－
西川誠之	○	－	○	○	○	○	○
森亮二	○	－	－	○	－	－	－
徳増記代子	○	○	－	－	－	○	○
藤井俊行	○	－	○	○	－	○	○
中川弘	○	○	○	－	－	○	○
海老原功一	○	－	○	－	－	○	－
根本守	○	－	－	○	○	○	○
小田桐仙	○	○	○	○	－	○	○
青野直	○	－	○	○	○	○	○
乾紳一郎	○	○	－	○	－	○	○
秋間髙義	○	－	○	○	－	○	○

対象者：前年１年間を通じて議員であった者

≪表示例≫

○　当該年度に納付すべき額が、すべて納付されている場合（市・県民税の項目は、非課税を含む。）

△　当該年度に納付すべき額の一部が、納付されている場合

×　当該年度に納付すべき額が、まったく納付されていない場合

―　納税等状況報告の対象外

（注１）介護保険料については、介護保険法第129条２項に基づき、65歳以上の方を報告対象とした。
　なお、40歳以上65歳未満の医療保険加入者が納めている介護保険料については、各医療保険料に含まれるため報告対象外とした。

（注２）議員本人に納入義務がないものは、報告対象外とした。

委員会の審査状況

総務委員会
議案４件を審査

◆「平成29年度流山市一般会計補正予算（第１号）」の主な意見◆

①新設小学校の建設は、わが党も求めてきたところであり、建設そのものに反対するわけではありませんが、現在教育委員会が示している建設予定地と学校規模が前提で進んでいくことでは、とても賛成できません。建設予定地は、学区分割の考え方を地域住民に示して地域と議会の協力を得る必要があります。現在、小山小学校と八木北小学校の学区変更でも住民から強い批判が出ており、大畔地区への新設小学校建設による学区変更はさらに議論が巻き起こるものと考えます。

学校規模の問題では、47学級を想定していますが、県内はもとより全国１位、２位を争う過大規模校であり、各地で31学級以上の過大規模校の解消に取り組んでいることを考えれば、この想定自体に問題があり、地域住民からも色々な意見が出てくるのも当然です。そのような段階で、それを前提とする補正予算には賛成できません。また、基本計画は教育委員会が責任をもって策定すべきであり、詳細な設計まで含めて一括業務委託をすべきではありません。

②本案は、新設小学校建設に向けて議会や住民に対する十分な説明責任を果たすため、複数案を作成するための増額補正と認識しています。建設に向けての協議に当たっては、議会も住民も準備が必要ですが、スケジュールが明確でありません。説明についても不十分な印象を受けます。また、この地域は地域自治が確立されていない中でも頑張っていこうとしています。その方々に真摯に説明する気がなければ「学校施設の目指すべき姿」にある「地域と共に歩む拠点としての施設整備」はできないと考えます。円滑な議事運営や合意形成ができるよう、議会や市民に対して、いつ誰がどのような協議や意見交換を行う予定なのか詳細スケジュールを早急に提示することを要望します。

③おおたかの森小学校の児童数の増加に対応するため、平成33年４月に開校予定とする新設小学校建設に係る設計等業務委託を平成29年度から一括発注することで、設計期間の短縮と費用の削減が期待できるため賛成しますが、以下２点を要望します。設計に当たっては、過去に建設された小中学校のメリット、デメリットをきちんと検証した上で、新設小学校として最適な校舎建設に努めること。地域住民への説明については、通学区域に係る住民に対して広く説明を行うこと。

④井崎市政で建設された小山小学校、おおたかの森小中学校については、ともに失敗という状況になってしまいました。二度あることは三度あるでは済まされないとのことで昨年の第３回定例会以降、多くの議員から一般質問等を通じて、この地域における学校建設のあり方について厳しい指摘がありました。執行部として答弁したことを誠実に実行してください。

教育福祉委員会
議案２件、陳情３件を審査

◆「特定疾病療養者見舞金制度の見直しに関する陳情書」の主な意見◆

①難病者への見舞金は、市単独で支給しているものです。国の対象も広がる可能性がある中で、流山市福祉施策審議会からも「限られた財源の範囲の中で持続可能な制度として存続させていくために、支給額を見直す必要性は理解できる」という答申を平成28年１月26日に受けている経緯があり、決して難病者の方をおろそかにしているというものではないと考えます。今後、難病患者への情報の周知を更に徹底することを要望します。

②特定疾病療養者見舞金制度、指定難病制度における医療費助成については賛同し、守られるべき人たちを救うことは大切であると考えます。流山市としても見舞金は、療養者またはその保護者の闘病、もしくは労苦に報いることを目的としており、今回の制度改革に伴いこれまで同様の制度を維持するには、対象疾病数が拡大する中、財源確保の課題があります。これまでの制度同様の金額継続を求める陳情の趣旨は理解しますが、採択するには難しいと判断しました。子どもの医療費の混同、勘違いがあるとの見解だったので、そういった勘違いをなくすため周知徹底を要望します。

③特定疾病療養者見舞金については、平成28年度予算において国の試算に基づき見舞金対象者数を２倍と想定しましたが、当初見込みよりも申請者数が伸びず、その後減額した補正予算が計上されました。しかし、対象者数の増加については、単年度だけでは判断できないところがあるとの理由で再び平成29年度予算においては、対象者人数の増加分が計上されており、これらの動向を鑑みた時、現時点での見直しは時期尚早であると考えます。

④減額された時には、審査する議案にもなっていない規則の改正であっても、市長の大幅削減案を改善させた市議会の歴史に基づけば、本陳情については、軽々に不採択にするべきではないと考えます。また、減額をする前提として申請者数が２２００人から４４００人へと倍になるという予測でしたが、実際は１８６８人しかいません。予算では、一般会計全体で３００億円程度のものが、現在では５００億円程度へと大幅に増額する一方で、本制度の予算は、８８００万円から４６００万円代へと大幅に減額されており、それらをチェックし、監視し、継承する議会の役割から考えれば、継続審査が妥当であったと考えます。

都市建設委員会
議案３件を審査

◆「流山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する 条例の一部を改正する条例の制定について」の主な意見◆

①流山市にはＤＥＷＫＳといわれる子育て中の共働き世帯が多い中、最近では多種多様な店があるため、思わぬ店に営業されないよう、想定される店や明るさについての効果を質疑しました。風営法及び建築基準法が改正され、改正法との整合を図ることから、条例の一部を改正することは理解しました。今後、改正風営法に関連する店舗の出店が想定されるため、警察及び関係部署と連携をとるよう要望します。

②本改正理由の1点目は、２０１５年の風営法の改正、ダンスホールやナイトクラブへの規制が大幅に変えられたことと整合させる必要があることにあります。その風営法の改正自体、２００８年に文部科学省の学習指導要領が改正され、小学校・中学校・高等学校等で表現運動・リズムダンスとしてロックダンスやヒップホップダンスなどが体育に導入されたことともに関連しています。今日ではダンス文化は市民に支持され、急速に普及しており、特に若者たちの間では当たり前の表現行動、文化のひとつになっています。まちづくりのあり方も、文化面でのこの動きを反映、それと整合したものとならなければならないと思います。本改正理由の２点目は、平方北部物流施設地区の地区計画が都市計画決定されたことに伴い、建築物の用途等を制限しようというものであり合理的なものであると認められます。

監査委員の選任

６月23日には、中川弘議員の監査委員退任に伴う人事案件が追加提出され、海老原功一議員を後任とする議案が同意されました。

○監査委員
海老原　功一　議員
平成29年７月１日就任

表彰

第93回全国市議会議長会定期総会において、長年にわたる地方自治の発展に尽くされた功績により、本市議会議員が表彰されました。

被表彰者は次のとおりです。

○議長在職４年以上
海老原　功一　議員

○議員在籍10年以上
徳増　記代子　議員

議長の主な公務

5月24日　全国市議会議長会定期総会（東京都千代田区）
5月30日　東葛都市議会連絡協議会定例会議（我孫子市）
7月3日　江戸川改修促進期成同盟会総会（野田市）

ようこそ流山市議会へ

5月16日から8月15日までの間に、議会改革等について行政視察にお越しいただいた皆さまです。

・滋賀県守山市議会
・京都府長岡京市議会
・千葉県松戸市議会
・滋賀県大津市議会
・愛知県瀬戸市議会
・千葉県八街市議会
・愛知県田原市議会

次回定例会のお知らせ

平成29年第３回定例会は、次の会期日程（案）のとおり開催される予定です。

平成29年第３回定例会会期日程（案）

8月31日	（木）	本会議　午後１時開議
9月5日	（火）	本会議（一般質問）午前10時開議
6日	（水）	〃
7日	（木）	〃
8日	（金）	〃
11日	（月）	総務常任委員会
12日	（火）	教育福祉常任委員会
13日	（水）	市民経済常任委員会
14日	（木）	都市建設常任委員会
19日	（火）	決算審査特別委員会
20日	（水）	〃
21日	（木）	〃
25日	（月）	〃
10月2日	（月）	本会議　午後１時開議

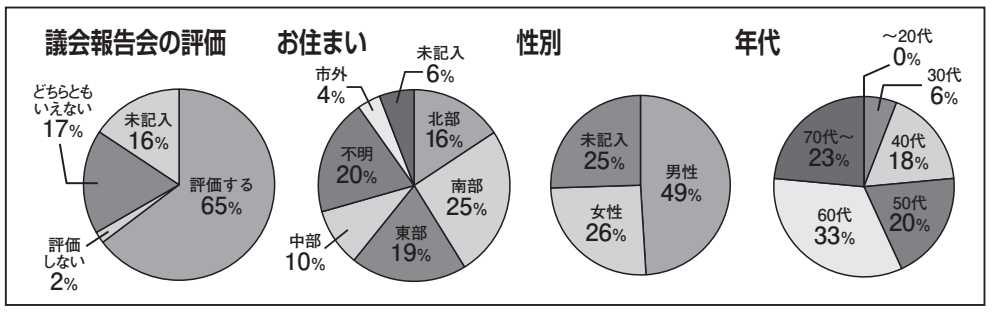
第14回議会報告会を開催

平成29年5月13日(土)、14日(日)の両日、第14回議会報告会を開催しました。

今回は、両日併せ62名の市民の皆さまにご参加いただき、各班が事前に定めたテーマについてそれぞれ報告し、報告後は参加いただいた皆さまとの意見交換を行いました。

この議会報告会でいただいた多くのご意見は、今後の議会活動の中で貴重な資料として生かしてまいります。

（※ホームページにおいて各班より提出された報告書・参加者アンケートの詳細が閲覧できます。）



1班 総務委員会

【参加人数】13人
【会場】東部公民館
【テーマ】
・子育て支援策の現状と今後の課題について
【主な意見とその回答】
Q. 公立保育所の5年間での減り方は？やはり公立が必要ではないですか。
A. 公立2施設減、私立2施設増です。
Q. 公立保育所の5年間での減り方は？やはり公立が必要ではないですか。
A. 公立は市の負担が多いが私立だと国の補助金が多く得られます。
Q. 公立保育所の5年間での減り方は？やはり公立が必要ではないですか。
A. 公立は古くなったと言われましたが、老朽化対策を講じれば済むこと。
Q. 公立保育所の5年間での減り方は？やはり公立が必要ではないですか。
A. 学童クラブは質が大事。定員以上に入所させての数あわせなど、子どものモノ扱いはだめです。
Q. 公立保育所の5年間での減り方は？やはり公立が必要ではないですか。
A. 学童クラブは増やしていますが、ニーズに追いつかず、地域によっては不足しています。
Q. 公立保育所の5年間での減り方は？やはり公立が必要ではないですか。
A. 市長の政策が間違っています。子どもはこれからも増えるので失敗は許されません。
Q. 公立保育所の5年間での減り方は？やはり公立が必要ではないですか。
A. 質の担保のためのガイドライン作成は議会の成果です。行政や議会が間に入って調整をしていきたいと思います。
Q. 公立保育所の5年間での減り方は？やはり公立が必要ではないですか。
A. 収入を所得に変えさせるなど改善はしてきましたが、まだまだ研究が必要だと思っています。
Q. 流山市全体の通学路の点検をして下さい。
A. 当局は毎年一斉点検をしていると言いますが、現場の意見と食い違いがあります。現場を見た上で予算化出来るかなど考えていきたいと思います。
Q. 就学援助制度申請書類の記入の煩雑さを改善して下さい。

2班 教育福祉委員会

【参加人数】25人
【会場】森の図書館
【テーマ】
・報告会で頂いたご意見に対する取組み
・子育て・福祉に関する意見交換
【主な意見とその回答】
Q. 現在の通級支援教室の教員配置で十分な指導ができていますか。
A. 補助教諭の配置などの増員に制約はあるが、改善に向けて努力します。
Q. 教員の部活動の指導の負担が大きいと言われています。流山市ではどうですか。
A. 負担軽減に向け取り組んでいますが、まだ不十分ですので、今後も取り組みを続けていきます。
Q. 若い世代の人口が増えればこどもの数が増えるのは明らかなのに、保育園や学校整備が後手に回っていませんか。
A. その通りですので併設校建設時から計画の見直しを強く求めてきました。
Q. 障がい児の民間保育園受入れはどうなっていますか。行政からの支援はあるのでしょうか。
A. 民間でも受け入れは行っているが、補助金との兼ね合いで数は増えていません。公立保育所の職員を増やし受け入れることで対処しています。
Q. 流山おおたかの森駅周辺にビルが増加し、消防体制は大丈夫ですか。
A. はしご車の整備が課題です。
Q. 火災時、救急車も一緒に現場に向かいますが、必要な場合にすれば、出動回数を減らせるのではないですか。
A. 火災時に犠牲者などの有無が不明なため向かっていると思われます。
Q. 埼玉県内のミニバスのように交通網を充実してほしいです。
A. 各議員がさまざま取り組んでいます。予算審査特別委員会の合意指摘事項に位置付けられていることが、議会全体の現在の到達です。
Q. 手当は高い方が良いに決まっていますが、基準が決められており難しいです。市独自で手当てを出していることは評価できます。今後も限られた財源の中でできる事をやっていく必要があると考えます。

3班 市民経済委員会

【参加人数】11人
【会場】文化会館
【テーマ】
・平成29年度一般会計予算の概要について
・フリートーク
【主な意見とその回答】
Q. 指摘要望事項について、子どもに対する要望は多いですが、高齢者に対する要望がありません。高齢者には興味がないと言う事ですか。
A. 今回の予算の報告は、一般会計のみに限定しています。介護保険、後期高齢者医療保険、国民健康保険は特別会計で行われているため、高齢者に関する要望が今回の指摘要望事項の中に無いことは事実ですが、別の場所ではしっかり議論されています。
Q. 新小学校は、学区を変えたりスクールバスを活用したりするなどして新設しないで済ませられないでしょうか。
A. 新小学校は、案の段階で場所など詳しいことは未定です。少子化が始まった後の活用方法なども含め、今後の課題として検討します。
Q. 保育士の８０００円の手当は妥当と思いますか。

4班 都市建設委員会

【参加人数】13人
【会場】初石公民館
【テーマ】
・ベッドタウンからリビングタウンへパート2
・消防について
【主な意見とその回答】
Q. 消防本部の移転はいつ決まったのですか。
A. 市の基本計画に平成31年度に移転用地選定が位置付けられています。委員会による視察を行い、5年程度かかることから今年3月に市議会で決議を提案し、全会一致で採択しました。また平成29年度予算に用地選定・測量費が盛り込まれました。
Q. 流山おおたかの森駅周辺にビルが増加し、消防体制は大丈夫ですか。
A. はしご車の整備が課題です。
Q. 火災時、救急車も一緒に現場に向かいますが、必要な場合にすれば、出動回数を減らせるのではないですか。

平成29年流山市議会第１回臨時会　議員別表決結果一覧

出席議員全員が賛成した議案、請願・陳情、発議　（全会一致）

議案	第36号	専決処分の承認を求めることについて（流山市税条例の一部を改正する条例）	第37号	専決処分の承認を求めることについて（流山市都市計画税条例の一部を改正する条例）

賛否が分かれた議案、請願・陳情、発議			審議結果	流政会								自由民主党				市民クラブ					公明党				日本共産党						
				野田 宏規	近藤 美保	大塚 洋一	坂巻 儀一	石原 修治	笠原 久恵	森 亮二	青野 直	加藤 啓子	中村 彰男	中川 弘	根本 守	西尾 段	森田 洋一	楠山 栄子	西川 誠之	藤井 俊行	戸辺 滋	野村 誠	斉藤 真理	秋間 高義	植田 和子	徳増記代子	小田桐 仙	乾 紳一郎	菅野 浩考	阿部 治正	海老原功一
議案	第35号	流山市個人情報保護条例及び流山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○ 可決	○								○				○					○				×			○	×	／

※議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。
※議長、海老原功一の所属会派は自由民主党です。

平成29年流山市議会第２回定例会　議員別表決結果一覧

出席議員全員が賛成した議案、請願・陳情、発議　（全会一致）

議案	第39号	流山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	第44号	流山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第40号	証人等の費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	第45号	市道路線の認定について
	第41号	財産の取得について（高規格救急自動車）	第46号	市道路線の廃止について
	第43号	流山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		
陳情	第5号	「国における平成30（2018）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書	第6号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書
発議	第9号	北朝鮮によるミサイル発射に抗議する決議について	第14号	国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書について
	第12号	夜間中学の設置促進を求める意見書について	第15号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
	第13号	千葉県農業施策の拡充等を求める意見書について		

賛否が分かれた議案、請願・陳情、発議			審議結果	流政会								自由民主党					市民クラブ					公明党				日本共産党						
				野田 宏規	近藤 美保	大塚 洋一	坂巻 儀一	石原 修治	笠原 久恵	森 亮二	青野 直	加藤 啓子	中村 彰男	中川 弘	海老原功一	根本 守	西尾 段	森田 洋一	楠山 栄子	西川 誠之	藤井 俊行	戸辺 滋	野村 誠	斉藤 真理	秋間 高義	植田 和子	徳増記代子	小田桐 仙	乾 紳一郎	菅野 浩考	阿部 治正	秋間 高義
議案	第38号	平成29年度流山市一般会計補正予算（第１号）	○ 可決	○								○					○				○				×			○	×	／
	第42号	流山市福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○ 可決	○								○					○				○				×			○	×	／
	第47号	監査委員の選任について	○ 同意	○								○	○	○	注1	○	○				○				○			○	○	／
	第48号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○ 同意	○								○					○				○				—			○	○	／
	第49号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○ 同意	○								○					○				○				—			○	○	／
陳情	第3号	特定疾病療養者見舞金制度の見直しに関する陳情書	× 不採択	×								×					×				×				○			×	○	／
発議	第10号	「森友学園」「加計学園」問題の真相究明を求める意見書について	× 否決	×	○	×	×	×	×	×	○	×					○				×				○			○	○	／
	第11号	憲法尊重擁護義務の厳守を求める意見書について	× 否決	×								×					○	○	○	×	○	×			○			×	○	／
				野田	近藤	大塚	坂巻	石原	笠原	森	青野	加藤	中村	中川	海老原	根本	西尾	森田	楠山	西川	藤井	戸辺	野村	斉藤		植田	徳増	小田桐	乾	菅野	阿部	秋間

※表の見方　○：賛成　×：反対　欠：欠席　－：棄権
※議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。
※議長、秋間高義の所属会派は公明党です。
※可決した意見書は、関係省庁に提出しました。
※その他　◎欠席した議員がいた場合
→出席議員全員が一致したものは「全会一致（上表）」
→賛否が分かれたものは「賛否が分かれた（下表）」、表示は［欠］
◎棄権した議員がいた場合
→審議結果にかかわらず全て「賛否が分かれた（下表）」、表示は［－］
（注１）　議案第47号において、海老原議員は地方自治法第117条の規定により除斥（退席）となっています。

あとがき

議会広報広聴特別委員会では、より読みやすい市議会だより作りに取り組んでいます。

皆さんのご意見・ご感想をお聞かせください。

なお、6月15日より、議会広報広聴特別委員会の委員構成が変わりました。新しい委員は次の通りです。

議会広報広聴特別委員会

委員長　加藤　啓子
副委員長　戸辺　滋
委員　石原　修治
委員　菅野　浩考
委員　植田　和子
委員　阿部　治正
委員　楠山　栄子

議会の窓

まだまだ暑い日が続きますが、蝉の鳴き方の変化で季節の移りを感じられる時期となりました。5月より新メンバーでの委員会が始まり、最初の市議会だよりをお届けいたします。公明正大な情報公開が強く求められている今、当委員会が果たす役割も重要です。みなさまの意見を広くお聴きし、議会を近くに感じていただけるような広報に努めてまいります。その為には、委員が自由闊達な意見交換ができる場となるよう運営いたします。

加藤　啓子

R70 古紙70%再生紙、植物油インク使用